

卓話『「やさしい たのしい わかりやすい！」事業活動におけるSDGs』

ポジ◎ラボ SDGs公認ファシリテーター 丸山亜希様 担当:ニコニコBOX委員会

◆会長挨拶

2/27に下山会員のご尊父品一様が旅立たれました。誠にご愁傷様でした。下山会員よりエコクラブにご厚志を賜りましたことをご報告し御礼申し上げます。お心遣いに感謝しご冥福をお祈り致します。

2月26日の日曜日に、2020年3月に中止されて以来3年ぶりにIMが諏訪湖クラブさんの担当にてマリオさんを会場に開かれました。我がクラブからは16名が参加致しました。

第一部の私のクラブ自慢では、10分程の持ち時間に宮澤弘樹会員がエコの多岐に渡る事業活動や全国唯一クラブテーマを持つクラブであることなど十二分に諏訪グループにPRして下さいました。参加された皆様も感じられたと思いますが、エコ愛一杯の大変に誇らしい発表をして頂きました。PR資料も宮澤会員に作って頂きましたが、インパクトありましたね。お疲れ様でした。

第二部では 小林崇仁 平福寺住職を講師に迎え「諏訪神仏プロジェクト」の取り組みを基に 諏訪信仰の歴史を振り返る と題した講演をお聞きし、懇親会となりました。

3月14日の火曜日には予定通り2クラブ合同夜間例会が開催されました。こちらも3年ぶりですね。懇親会は第34期を待ちわびておられる河西エレクトの熱い思いを込められた立派な乾杯の挨拶でスタートしました。皆勢よく杯を干して歓談となり2クラブの会員同士の絆を深く出来たと思います。来年度はエコの担当となりますのでよろしくお願い致します。

諏訪大社RCの創立30周年式典が3月12日の日曜日に「紅や」にて上沢ガバナー・吉澤ガバナー補佐を迎え盛大に行われました。記念講演は仏師でタレントの滝田栄さんによるもので、有毒工業物質や牛などの糞尿などによる河川の汚染について1時間あまり熱く語られました。その後は懇親会となり、最後は「手に手つないで」で散開となりました。

理事会の報告ですが、やっと小康期ということで今期7月以来の円卓テーブルでの配膳例会が出来ることになりました。マスク等に関しましては、個人でのご判断に委ねたいと思いますのでよろしくお願い致します。

地区よりの「トルコ・シリア大地震に対する支援要請」に関してです。上沢ガバナー名にて、地区として1万ドルの支援金を送金するとの決定がなされた連絡が届きました。エコとしましては、理事会決定により会員1人1,000円×46名に4,000円を足した計5万円を災害支援金より支出してガバナー会を通して送金して頂くこととし、現地ロータリーに送金されることになりました。

熱気に満ちたWBCが最高の結果を掲げ終わってしま

ったので、ロスの方も多いかと思いますが、今は梅が満開で桜もほころび始めました。次はサッカーの応援でしょうか？私も残り3か月振り絞りたいと思います。オールエコでよろしくお願い致します。

◆3月誕生日祝い



佐久間茂雄・山田昌義・木村和彦 各会員

◆3月結婚記念日祝い

佐久間茂雄・宮坂勝彦 各会員

◆幹事報告

- ・2600地区よりトルコ、シリア地震への募金依頼 ※災害基金より50,000円支出（理事会にて決定）
- ・新型コロナ感染拡大の例会開催基準について通常通りに戻す（理事会にて変更）
- ・左近様よりネパールタルー族 現地からの災害支援へのお礼状と奨学生の名簿（回覧）

◆次年度 幹事報告 吉池会員

- ・3月13日第1回理事会の報告 副幹事 小島善之会員に
- ・4月9日 地区研修協議会 オンライン開催 ※該当の委員長は出席をお願いします

◆地区R財団委員 宮澤会員

- ・上田東RCより補助金事業「多文化共生社会の実態 冊子作成事業」報告書 回覧

◆委員会・同好会報告

《次年度社会奉仕委員会》丸茂委員長

- ・次年度 自然の玉手箱の日程（理事会承認）と協力 のお願い 1回目 4月29日（土）今年度応募33名 《旅学》

- ・4月7日、8日の旅 キャンセルがでたため 参加希

望の方は3月29日事務局まで（最終）

◆卓話

◆「やさしい たのしい わかりやすい！」事業活動におけるSDGs 丸山亜希様

《自己紹介》

2030SDGs カードゲーム公認ファシリテーター
 (一般社団法人イマココラボ) 准認定ファンドレイザー
 SDGs公認ファシリテーター
 イマココラボ開発 / SDGs関連のワークショップ
 / 夫婦でウォーキング講師

■SDGsとは、「Sustainable Development Goals (持続可能な開発目標)」

の略称です。2015年9月に国連の持続可能な開発サミットで国連加盟国193カ国全員の全会一致で採択された。持続可能な開発のための17の国際目標で、その下に、169のターゲットと232の指標が決められている。



・MDGsとはSDGsの前進で、2000年～2015年を期限とした国際目標（開発途上国の目標8つ）。引継がれたのがSDGsである。

・「地球上の全人類」にかかわる課題をとりあげている。地球上の「誰一人取り残さない、取り残されない」がSDGsの理念。

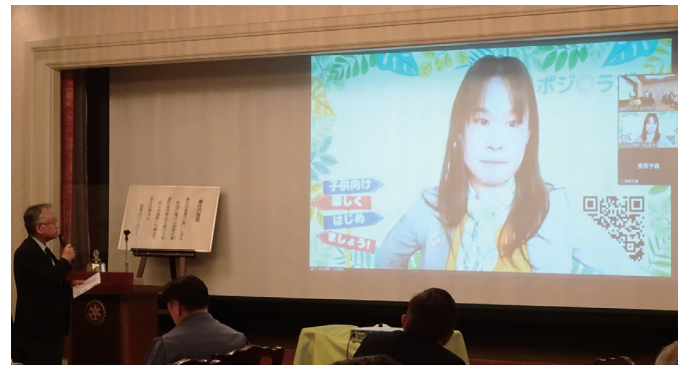
・2030アジェンダ：採択されたのはSDGsではなく2030アジェンダとして採択された文章に掲載された一連の目標を指しているのがSDGs。“我々の世界を変革する：持続可能な開発のための2030アジェンダ”
 ・なぜTRANSFORMが必要なのか？ ①環境への負荷 ②枯渇する資源 前文：我々は、極端な貧困を含む、あらゆる形態と側面の貧困を撲滅することが最大の地球規模の課題であり持続可能な開発のための不可欠な必要条件であると認識する。

・SDGsの17のゴールは3つに分かれる ①経済成長 ②環境保護 ③幸せな社会 その下に 169ターゲット さらに下に指標232がある

■日本のSDGs達成度は？ 19位（アジアでは1位）
 未達成：目標5（ジェンダー） 目標12（持続可能な生産と消費） 目標13（気候変動） 目標14（海洋資源） 15目標（陸上資源） 17目標（パートナーシップ）

■SDGsビジネスの観点から

今までの日本の企業は近江商人「三方よし」売り手よし・買い手よし・世間よし：3者がどれもかけることなく豊かになっていくことを念頭に掲げている。一方 SDGs経営は「六方よし」未来よし・地球よし・売り手よし・買い手よし・世間よし・作り手よし。「仲間と友に次世代や地球が幸せに、今の取組を変えることで共感を生み、地球、社会に必要とされるよ



うようになる。これからは「次世代の人と地球」もHAPPYになる。「六方よし」この考えが共感を生み、パートナーに。

お客様は誰？⇒「未来の人々と地球」
 ◎インサイドアウトとアウトサイドインで考える
 「インサイドアウト」で考えると一なぜやるのか、何のためにやるのか

WHY→なぜやるのか（理念や思い） HOW→どのようにやるのか WHAT→何をやるのか（手法）
 「アウトサイドイン」で考えると一SDGsはボランティアだけではない

◎SDGsビジネス アウトサイドイン
 社会 (outside) 「未来の顧客に対する新しい製品・サービス 社会的課題

顧客 (至上)：「既存顧客」に対する既存の製品・サービス マーケットイン・プロダクトアウト
 企業 (innsaide)

①取組みを関連づける ②六方よしで考える ③新しい取組みに挑戦！（インサイドアウト、アウトサイドインで考える ④仕組み化に巻き込む (giver精神)
 ・インサイドアウト（なぜやるのか） アウト（社会）サイドイン（企業）⇒新規事業の創出
 “たいせつなのは共通の価値”

■若者の価値観の変化

Z世代（1990年～2010年）の消費行動の特徴
 地球上で起こっている環境問題などにも関心を持ち、自分の意見をSNSを通じて発信する人が多い世代。購入にあたっては有名ブランドであることよりも、品質や性能、コンセプト、さらにはそのブランドを選ぶとどのような価値があるか、ストーリーに共感できるかなど大切にしている。



ラッキーナンバー・ニコニコBOX・出席報告

- ラッキー No.70 小口陽一会員 ニコニコするメッセージをお寄せ下さい
- ニコニコBOX 75,000円
- 出席報告
 会員数 46名 出席 33名 欠席 13名
 出席率 73.33% 訂正 68.88%

今週のプログラム 4月3日(月) PM0:30
 マリオ/卓話 デジタル化推進委員会

次週のプログラム 4月10日(月) PM0:30
 マリオ/地区協議会・研修報告 次期役員・理事